

事業所名

児童発達支援事業所 南っ子

支援プログラム (放課後等デイサービス)

作成日

2025 年

2 月

21 日

法人 (事業所) 理念		南っ子では、南薩地域に住む障害または心身の発達が気になる就学児を対象に、家庭や学校とは異なる時間、空間、人、体験等を通じて個々の子どもの状況に応じた指導、集団生活への適応に向けた支援を行います。					
支援方針		日常生活における身の回りの行動(身辺自立)や集団生活におけるルールを学び、一人一人の成長をサポートします。 また、保護者の困り感に寄り添い、集団生活へのアドバイス、子どもへの関わり方等、親支援を行います。					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり (枕崎市全域、南さつま市坊泊地域)
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	*日常生活の安定→生活リズムを整えて安定させることで、充実した日常生活が送れるように支援する。 *身辺自立→身の周りの事へ取り組む際、助言や指導を行うことで、身辺スキルを向上させ自立へと繋げる。各々ロッカーを用意し、自分の物の管理が出来る様にする。 *不登校を防ぐ→事業所が安心して過ごせる居場所となるよう、その子に応じた支援や対応を行う。必要に応じて個別の対応を行うこともある。					
	運動・感覚	*運動機能、基礎体力の向上→公園の遊具、鬼ごっこやボール遊びなど身体を動かす遊びを経験し、運動機能(走る・投げる・蹴る等)と体力の向上を目指す。 *巧緻性の向上→感触遊びなどで感覚を刺激する。粘土を丸める動き等による手の操作、アイロンビーズをつまむ等による指先の巧緻性を高める。 *道具の使用→制作などでハサミやのり、セロテープなど身近にある道具を使用して、正しい使い方や適量に関する認識を高める。 活動にクッキングを取り入れ、包丁やホットプレートなどの使い方を知る。同時に所作によっては危険な事に繋がる事も知らせる。					
	認知・行動	*流れの理解→その日の流れを文字や絵カードで掲示することで、見通しが持てるよう支援を行う。 *状況を判断する力の向上→場面・場所・状況に応じた言動に関する指導だけではなく、スタッフと共に『どうすると良いか』を考える支援を行う。 *指示理解の向上→短くわかりやすい全体指示だけではなく、表情等から理解度を読み取り、必要であれば個別に声掛けを行う。 *宿題への援助→自由時間に宿題をしたい子どもに対し、集中して取り組みやすい環境を作る。					
	言語 コミュニケーション	*基本的な挨拶等→登園・降園の際や始まり・終わりなどの基本的な挨拶の獲得・習慣化へ向けて支援する。言葉使いや態度に関する指導を行う。 *気持ちや要求の表現→自分の感情や思ったこと、要求や依頼したいことなどを言葉やサインで表現する経験を積み重ねられるよう支援する。 話し合い活動を取り入れ、みんなの前で発表する経験を積み重ねていくことで自信へと繋げていく。					
	人間関係 社会性	*交友関係の拡大→友だちや遊びへ興味を示す時は、大人が間に入ることで関係を築いていく。 *集団での活動→遊びのルール、順番や約束に関することなどをみんなで共有し、楽しく遊べた経験が味わえるようにする。 *感情のコントロール→悲しみや怒りをいつまでも引きずることがないよう、気持ちを受け止めながらクールダウンへと促す。					
家族支援		家族が気軽に相談することが出来るような取り組みを行う。 ・連絡帳、LINE、電話や送迎時など ・定期的な個別面談や随時受けている個別相談			移行支援		学校や家庭と連携を図り、過ごしやすい環境の調整や支援の取り組みについて情報共有を行い、子ども一人ひとりに合った対応を行う。
地域支援・地域連携		学校・相談支援事業所・他事業所だけでなく、行政や地域とも連携を図り、子どもを中心とした支援の方向性を共有する。			職員の質の向上		こども部会への参加、事業所内外での研修の参加等、職員のスキルアップを目指しています。
主な行事等		誕生会(お楽しみ会)、園外活動(プール・買い物体験・外食体験)、クリスマス会、地域探索活動、避難訓練					